

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 9 5 号

【平成 28 年 12 月 2 日(金)発行】
発行：J Aグループ宮城災害復興本部
編集：J A宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466

《目次》

1. 「農協改革は自主性確保が大前提」。国会議員招き J A 代表者要請集会
2. 宮城県農協青年連盟と J A みやぎ女性協が国会議員に農業所得向上に向けた支援など要請
3. 「おうえんありがとうだもん☆」復興支援に感謝し、「くまモン」が来仙
4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 63 次請求

1. 「農協改革は自主性確保が大前提」。与党国会議員招き J A 代表者要請集会

J A 宮城中央会と県農協政治連盟は 11 月 16 日、規制改革推進会議農業ワーキンググループ (WG) が示した「農協改革に関する意見」に断固抗議するため、地元選出の与党国会議員を招き、東京都内で緊急に J A 代表者要請集会を開きました。

J A 組合長など 23 人が上京。農協改革は、J A グループ



「農協改革に関する意見」に抗議し、緊急に開いた要請集会 (東京都内で) の自主性確保を大前提として取りまとめるよう強く要請しました。

石川壽一会長は「提言は、民間組織への不当な経営介入であり、農協解体を意図するものとは思えない。地方創生どころか地方の崩壊を招く」と憤りを露わにしました。

自民党の伊藤信太郎、小野寺五典、土井亨、秋葉賢也、西村明宏、勝沼栄明の 6 議員が出席。「提言は現場の実態を踏まえておらず、これが政府の政策ではない。必ず押し返します」などと答えました。

要請は民進党の安住淳衆議院議員、桜井充参議院議員にも直接行い、参議院議員には環太平洋連携協定 (TPP) の徹底審議も求めました。

2. 宮城県農協青年連盟と J A みやぎ女性協が国会議員に農業所得向上に向けた支援など要請

宮城県農協青年連盟と J A みやぎ女性組織協議会は 11 月 15、16 日、環太平洋連携協定 (TPP) 承認案等の衆議院通過を受けて、地元選出国会議員に東京都内で緊急要請しました。

県農青連の鈴木貴郎委員長、女性協の佐々木美和子会長ら 12 人が上京。農業所得の増加に向け

た取り組み支援を行うことや、食の安全・安心を損なう制度廃止や規制緩和を行わないよう求めました。

自民党の伊藤信太郎、西村明宏、勝沼栄明議員、民進党の安住淳、郡和子議員に直接要請書を手渡しました。他の与野党議員は秘書が代理対応しました。

鈴木委員長は「TPPや農業・農協改革など、生産現場を不安にさせる課題は多い。我々現場の想いをしっかり国政に届けてほしい」と訴えました。

農業課題の解決や東日本大震災からの復興など、県内盟友の声を積み重ねた青年部の政策・方針集「宮城県JA青年部ポリシーブック」による要請も行いました。



勝沼議員に要請書を手渡す鈴木委員長と佐々木会長

3. 「おうえんありがとうだもん☆」復興支援に感謝し、「くまモン」が来仙

熊本県の人気キャラクター「くまモン」が12月1日、熊本地震の復興支援に感謝の気持ちを伝えるため、JAビル宮城を訪れ、大歓迎されました。

現地では、11月18日にすべての避難所が役割を終え、被災者は仮設住宅に移ったということです。

JAグループ宮城は、震災後、トラックで支援物資を送ったほか、2度にわたり約40人が現地に入り農作業を支援しました。

「くまモン」は飛んだり跳ねたりして、集まった職員に愛嬌をふりまき、中央会の石川壽一会長に「おうえんありがとうだもん☆」と書いた色紙を送りました。石川会長は「被災地に一日も早く笑顔が戻るよう願っています」と声援の言葉を送りました。



石川会長らと記念写真を撮る「くまモン」

4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第63次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は11月30日、第63次請求として東電に1,074万円を請求しました。

内訳は、牧草の利用自粛等にかかわる損害が620万円、牧草地の除染にかかわる損害が454万円となっています。